

**bug-de payse(バグデペイズ) 公演「椅子に座る我思う、故に我動かず」に  
当法人メンバーの竹内さん、野澤さん、諸井さんが出演します！**

演劇とダンスのジャンルを横断し、映像と音響を融合させたポストシアター。マイノリティとマジョリティが交差し、社会に対して鮮烈なイメージを突きつける。「椅子に座る」という日常の所作がこの現代において様々なパフォーマンスへと変容し、人間の尊厳を強烈に描き出す。ロバート・オッペンハイマー、レオ・シラード、アルベルト・aignシュタインらの物理学者たちが微睡み、原子爆弾が広島と長崎に投下される。敗戦直後の時期にひとりの人間が生まれた。彼は不自由な身体を宿命として背負い、高度成長期の日本で隔離された施設で生きる。彼という存在から伝播していくわたしたちの社会像とは？ 過去と現在、そして未来を描き出すイメージの演劇。



**☆チケット**

前売：一般 3,500 円 / 学生・障がい者割 2,500 円
当日：一般 4,000 円 / 学生・障がい者割 3,000 円

◎全席自由、当日清算、定員各回 50 名。  
◎学生証・障がい者手帳 提示をお願い致します。  
障がい者の介助者につきましては 1 名無料。

**★スケジュール**

11月 24日 [金] 19:30
11月 25日 [土] 13:30* / 18:30
11月 26日 [日] 13:30*

\*終演後、アフタートークあり  
◎受付開始・開場は開演の 30 分前。

**会場：**シアター・パビロンの  
流れのほとりにて  
**住所：**東京 都北区豊島 7-26-19/  
**電話：**03-3927-5482

ひこうせんLINE公式アカウントにて最新の通信がPDFや音声データで  
チェックすることができます。また過去の通信のPDFをご覧になります。  
色々な情報も発信していますので是非登録よろしくお願いします。

ハチミツ ローヤルゼリー プロポリスの専門店



〒361-0073 埼玉県行田市行田 5-6  
行田店 ☎048(550)4783

皆様の健康をお手伝いします  
处方せん調剤・一般医薬品  
**(有)ヨモダ薬局**

定休日：日曜日・水曜日・祝祭日  
埼玉県秩父郡長瀬町本野上144-1  
☎0494 (66) 0073

リサイクルショップ  
**福ねこ Fukuneko**

お家や仕事場に、まだ使える不用品はありませんか？  
お近くの市町村であれば、無料でお引き取りにお伺いします。その他、リサイクル品でお安く手に入れたい商品があればご相談ください。

住所：行田市南河原 2774-3 担当  
飯田まで  
電話：048-557-1706

株式会社 國分工務店 何でもご相談下さい  
お見積り無料  
どんな小さな工事でもOK  
■パワーフリー工事  
■新築工事  
■増改築工事  
〒366-0812 埼玉市新河原町620-3  
TEL: 048-572-4686  
FAX: 048-573-5776

設立、会計、税務、相続で困ったら！  
初回相談無料。

税理士 6名・社会保険労務士 1名  
行政書士 1名・相続士 2名

東京会計コンサルティング

☎ 0120-866-016

税理士：荒井 繁・担当税理士：長谷川 秀生  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-5-1 新宿御苑ビル 3階

**遺品整理**

に困ったら？  
遺品整理 生前整理 不用品回収

1点のゴミから 家一軒まるごとまで

**リサイクルイズミ**  
☎0120-961-919

新車・中古車販売 車検整備工場

TEL・FAX 048-554-7359

**野口自動車商会**

〒361-0016 行田市藤原町2-7-10

自動車のことなら  
なんでもおまかせ

**アシスタント募集**

※未経験の方は、ひこうせんで開催する  
重度訪問介護従業者養成研修課程を  
修了して下さい。

まずはお気軽にお電話下さい。

総務 ☎048-555-1100

編集・発行  
NPO 法人  
CIL ひこうせん

〒361-0075 埼玉県行田市向町 21-37

TEL: 048-555-1100 FAX: 048-555-1301

mail: hikousen@hks.or.jp

HP: http://cil-hikousen.jp

2023年10月20日 NPO 法人 CIL ひこうせん発行

VOL. 205

# ひこうせん通信



タイトル：魔女  
作者：こなき

# みんなの広場 新米祭り



今回のみんなの広場はコロナ規制がだいぶ緩和され、久しぶりに各部署の人々が集まり、新米祭りでおいしく食事をしました。カラオケも楽しく歌えて皆、満足したようでした。

北村

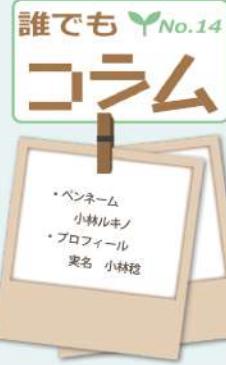


静岡県、伊豆市にて



この20周年旅行では制限が緩和され、自分が描いていたことはできたと思います。食べたいものを食べ、夜はカラオケで盛り上りました。また普段話さないメンバーさんとも、いいコミュニケーションがとされました。改装前の潮風館でしたがまた機会があれば、新館になったら宿泊したいです。

清瀬



## 将棋棋士 米長邦夫 元名人の心得

米長棋士といえば、将棋界タイトルを数々手中にし、その中には何年にもわたり防衛し続けたタイトルもあるというプロ棋界の第一人者である。それでも、名人位だけは、何故かなかなか獲得できずにいた。その事は、当時の将棋界の不思議の一つと言われていた。

そして、天才羽生善治がどんどん実力をつけ、昇給、昇段を続け駆け上って来る中、この年が最後のチャンスかもと言われた中米長は、ついに名人位を獲得した。ようやく将棋界のピラミッドの頂点の台座に座ることができたのである。ただ一期だけの名人であった。

次期には予想されたとおり、天才羽生が名人戦の挑戦者となり米長は、あっけなく負けてしまった。

そんな、米長にも若い頃の逸話がある。

ある夏の夕暮れ、新宿の街をぶらついていた若き日の米長は、前から気になっていた洒落た造りのバーに行つてみることにした。入口のドアを開けると内装もきれいで感じの良い店であった。米長は、若いホステスさんと談笑しながら、ウイスキーを飲み楽しく、1時間程過ごした。そして会計の時に渡された請求書には、現在の額に換算すると5万5千円と書かれてあった。ビール1本、ウイスキー1杯、ピーナッツでこの金額。完全なボッタクリバーである。米長は何を言わずに請求された金額を支払い、帰っていった。

翌日、下っ端のボーイが急ぎ足で店長室にやって来た。

「どうした」「昨日来た客が今日も来ています」たまたま見回りに訪れていた組の幹部が「ほう、どんな客だ」「普通のサラリーマンではないです。鉄夫の話だとプロの将棋指しではと言っています。あいつは将棋が好きですから」「将棋指しか」と言って幹部はゆっくりと店長室から出て行った。

幹部は米長のテーブルに来ると相向いのソファーに座わり「昨日も来ていただいたそうで、気に入って頂きましたか?」そして付いてきたボーイに、「俺の酒を持ってこい」そして米長の前にウイスキーのロックを置き「飲めよ、俺のおとりだ」と言った。

普通の人なら、「いえいえ、減相もない、自分の酒がありますから」「なにいへ。おとりだよ。俺の酒が飲めねーって言うのか」ということになるところだが、というかそもそも昨日ボッタクリにあった店にまた翌日来る客なんてまずないだろう。そこは米長、平然と「それでは遠慮なくいただきます」と言うと、ゴクッ、ゴクッ、「うーん、やはりいい酒は旨いですね」「これは店で一番いい酒だ。」そう言い終わるか終わらないうちに幹部は立ち去っていました。米長は、1時間ほどホステスさんを相手に飲んでから会計に向かった。

出された請求書には8千円と書かれてあった。

その後、米長は、いつこの店に来ても他の客が会計でもめているのを横目に8千円以上請求される事はなかったと言う。将棋士にもいろいろなタイプの人間がいる。

将棋が強いのは当たり前だが、名人、龍王、棋聖、王座等のタイトルを獲得する棋士は、将棋の強さや技術、研究量だけではなく怖い程の強靭な精神力がなければ無理といわれている。

私は、日本将棋連盟、熊谷支部、通称 熊谷将棋クラブに所属していたことがあり、今までに20人のプロ棋士と対局してもらったことがある。もちろん、飛車、角を落としての駒落ちの対局である。その中で、ただ一度だけ、プロ棋士の怖いほどの精神力を身を持って体験することになったのだが……

そのお話を、またの機会ということで。



# こなきの入院体験記

これは私の本当にあった闘病日記のお話です。

私がベッドで寝ていると、いきなり一人の看護師が入って来て「あなたの名前は竹内麟太郎さん?

ここは何処か分かる?」と聞かれました。

心の中で「馬鹿にして・・・」と思いましたが、私の言葉を全く理解できずまるで外国へ行ったみたいな気持ちになりました。

看護師が朝早くいきなり採血をしに来て「痛いわよ。我慢してね。動いたら針が折れるわよ。」と言われました。そんな事言われたら余計緊張しちゃう。動かない奴が居たらお目に掛かりたい。結局採血はできませんでした。

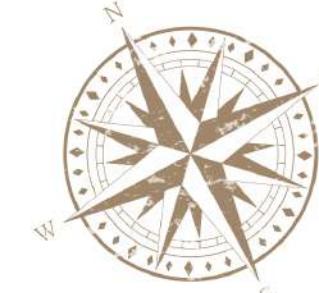
私の血管は中々出ないので、夜中寝ている時に黙って足首から血を抜かれていきました。

私は大声で「何をやってるんですか?止めてくれよ」と言うと、看護師に「こんな夜中に騒がないでよ。」と言われました。そして退院する日、朝ご飯の時、私は喉が渇いていたので「お茶ください」と、お願いしました。一杯飲ませてくれました。もっと飲みたかったから、「もっとください」と言いました。そうするとお茶じゃなく味噌汁をくれました。

「お茶をもっとください」と言ったら、「ご飯はもう食べたくないでしょう?」と言い、朝ご飯を一口も食べずに持って行ってしまいました。

他にも私の隣りに入院している人に対して、看護師が「言うこと聞かないんだったら、もう来ないで」と言ってました。「そんな事言うなんておかしいんじゃないの?いち看護師がそんな事言つていいのか?」と思いました。

二度とあの病院には行きたくないねええーと、私の心に誓いました。 こなき



# 羅針盤

第18章 行田の歴史を知ろう!!

今年、行田市は「三方領知替」から200年を迎えた。

文政6年(1823年)江戸幕府の命令により、白河藩主(福島県)が桑名(三重県)藩主へ、桑名藩主を忍(行田市)藩主に、忍藩主は白河藩主にそれぞれ領地替えになった。現代に例えるなら、江戸幕府が本社で、各藩が支店で各支店の店長が入れ替わったことになる。

この忍藩の本拠地である「忍城」は、作家 和田竜が書いた時代小説「のぼうの城」でも描かれており豊臣秀吉が唯一落せなかった城有名である。

行田市は歴史が古く、さきたま古墳群の中の稻荷山古墳からは国宝「金錯銘鉄剣」が出土されたり、万葉集の中に「さきたまの津」など4首も詠まれており、このことから「埼玉県」の県名発祥の地とされた。

それに明治時代から足袋産業が盛んになり、現在でも足袋生産日本一を誇っている。

行田の街は、至ることで歴史的建造物が残っており、古代から近代までの歴史があるところは、全国でも数少ない街だろ。

これからも「国宝」「金錯銘鉄剣」級のお宝が発見され、これまでの歴史が塗り替わるかも知れない。実際に浪漫がある街である。そんな歴史がある行田で私達ひこうせんは20年間、障がい者の社会参加や自立支援等の活動を続けてきている。今後も生活や仕事等をしていく上で、「行田」に誇りを持ちながら毎日を過ごしてもらうことを願う。 木村浩章



「行田市障がい者差別解消促進条例」が可決されました。

長年、行田市内の障がい者団体と共に活動を続けてきた「行田市障がい者差別解消促進条例」が9月26日行田市議会で全会一致で可決されました。施行日は本年12月9日からです。この条例の詳しい内容は、後日、お知らせします。



## 街は秋風

いつしか君を待っている。愛のある人。

何処かにいるはず、愛は気まぐれ。ふとしたことから  
始まったりする

あの時愛したあの娘達、今何をしているのかな。

街は秋風。暖めてくれる人が欲しい。

あの時の愛情は何処へ。恋をしてないといい詩が描けない。

愛が欲しい。癒してくれる心の優しい娘がいいな。

何処かにいるんだろうな…誰なんだろう。

早く知りたい。待てない。くじけそう。愛は勇気をくれる。

誰かが、きっと愛してくれるまで探し続ける。

街は秋風寂しくなるばかり。誰かが愛する人を…

よる なまえ ゆたか  
夜の名前は裕ちゃん



### ー IT社会と私達の暮らしー



講師 木村浩章  
(日時) 11月8日(水)  
13時15分～15時

毎日の暮らしの中で、「SNS」や「GAFA」、「チャットGTP」等の言葉を聞かない日はありません。これらの言葉の意味や内容を理解し、これから私の日常生活にどう生かせば生活や仕事がもっとやりやすくなるかを、みんなで考えましょう！！

### ー 7つの習慣ー ☆第7章 刃を研ぐ



講師 杉尾みゆき  
(日時) 11月16日(木)  
13時15分～15時

「刃を研ぐ」という習慣は、スティーブン・R・コヴィー博士の「7つの習慣」の第7の習慣で、日常生活で大切な考え方です。これは、自己成長と努力に焦点を当てています。例えば、日常的に何かをやり遂げようとするとき、継続的な努力と学習が重要です。刃を研ぐ習慣は、そのような努力を発展し、自分のスキルや能力を向上させることができます。成功につながると教えています。つまり、毎日少しずつ頑張り、成長することが大切で、その努力があなたをより自分が叶えたい夢に近づけ、成功への準備を整えてくれるので、ぜひ磨くことで、将来のチャンスに備えましょう。

ミネルヴァ、ミニ ILP は NPO 法人 CIL ひこうせん本部二階 学童室で行います。  
参加される方は、筆記用具を持参してください。  
申し込み・問い合わせは自立促進部（小林・杉尾・木村）まで。